

2024

希望をもって暮らせる千葉県めざし 全力でがんばります

底知れない派閥裏金
庶民の生活苦そっちのけ
大軍拡に突き進む

自民党政治を終わらせよう



12月定例千葉県議会

閉会日（12月19日）本会議で、丸山慎一県議（写真右）が2022年度決算認定反対討論、みわ由美県議（写真左）が議案等の討論をそれぞれ行いました。



議案等の討論

決算認定反対討論

一般会計補正予算…台風13号の大雨による被災地復旧・復興、医療・社会福祉施設や農漁業者等への物価高騰対策の事業には異論はありません。そのうえで、いかに暮らしを直接応援する対策を講ずるかが求められていると強調し、補正予算は不十分と指摘。緊急に追加編成するよう求めました。

多様性「尊重」条例…選択的夫婦別姓、男女の賃金格差是正、パートナーシップ制度、包括的性教育推進など世界ではあたり前のジェンダー平等の実現に県が直ちにふみだし、条例は抜本的に見直し再提出するよう強く主張しました。



加藤 英雄

（柏市）
総務防災常任委員



丸山 慎一

（船橋市）
県土整備常任委員



みわ 由美

（松戸市）
健康福祉常任委員



浅野ふみ子

（市川市）
文教常任委員

知事の給与等の引き上げ…物価高騰のもと実質賃金は下がり、暮らしは大変です。知事など特別職の給与、期末手当の引き上げに反対しました。

の 決
討 算
論 議
全 案
文 等

⇒



熊谷知事が初めて最初から編成した2022年度予算。県政の変化を期待した県民の思いに応えられたのかどうか問われました。しかし、残念ながら、期待に背を向けたものだったと言わざるをえません。

高い国民健康保険料…国に従って市町村の一般会計からの「法定外繰入」を激減させています。

深刻な公立小中の教員不足…首都圏の中で、初任給は最も低く、正規教員と臨時講師に差をつけています。

	給料	教職調整額 (4%)	地域手当	教員特別 手当	計
東京	201,900	8,076	41,995	2,530	254,501
神奈川	214,200	8,568	26,843	2,600	252,211
埼玉	217,565	8,702	18,780	2,600	247,647
千葉	214,700	8,588	20,540	2,600	246,430

商店街と農家激減…商店街は10年前より275箇所、販売農家は30年前より6万6千戸も減少です。

大規模開発に莫大な税金…千葉ニュータウン、つくばエクスプレス沿線開発などは当初の計画人口を大幅に下回り、事業が行き詰まっています。

地球温暖化防止に逆行…県は「第3次環境基本計画」で「地球温暖化の問題は一刻の猶予もない」と言いながら、知事は「今後の技術革新をふまえた新たな発電方式の導入を検討する」として年間472万トンものCO2を排出する火力発電所の新たな建設を事実上容認しています。